



蓄える力、動かす力、見守る力で
社会を支え未来を創造する

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

FB 古河電池株式会社

アイドリングストップ車用バッテリー



ECHNO
エノ IS
UltraBattery



世界初の新技术による
パワフルで長寿命タイプ

※日本国特許 第5315256号他

EN規格(日本車仕様)バッテリー

ECHNO
エノ EN
Premium



あらゆるシーンにお応えする
高性能EN規格バッテリー

製品の詳細
お問い合わせはこちら



自動車営業部 〒240-0006 神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川2-4-1
HP: www.furukawadenchi.co.jp

2026年 新春特集 自動車バッテリー

補修用 酷暑などで交換需要拡大

市場が伸びていた。

電池工業会(只信)生
会長によると、2025年度上期(4〜9月)の補修用車載鉛蓄電池の販売数量は前年同期比2%増の540万個だった。補修用バッテリーの市場は、コロナ禍で車の使用頻度が減少した2021年ごろに自然放電によるバッテリー上がりが増加したことで交換需要が拡大。その後、需要は一服したもの、24年度は冬の寒波の影響で、再び市場が伸びていた。

延びる車齢も
追い風に



足元の需は好調

25年度は当初、前年の反動もあり、減少に転じるとみられる関係者が多かった。しかし、上期は主要バッテリーメーカー各社で、販売が好調に推移した。要因は大きく2つある。1つは新車の需要の回復が鈍いことだ。25年の新車市場は、一部メーカーが認証不正で前年に出荷を一時停止していた反動増で前半は前期を上回るペースで推移していたが、中盤以降は価格の上昇などで響き販売が鈍化。トヨタ自動車など一部メーカーでの供給制約も慢性的なものとなっており、販売が伸びなかった。これが補修用バッテリーの需要には追い風となった。

この数年は、新車採用品の変化に合わせ、欧州規格(EN)対応品やアイドリングストップシステム(IS)用電池の補修需要が拡大するトレンドが続いていたが、直近1年は車齢の上昇に伴って従来の鉛蓄電池の販売も底堅く推移しているもようだ。

想定以上の暑さ
夏にも繁忙期

2つ目は酷暑の影響だ。25年の夏の日本の平均気温は、全国153の気象台のうち132地点で歴代1位を記録した。通常、バッテリーは寒波の到来などに備えて冬場に需要が高まりやすい。しかし、想定以上の暑さで夏も交換する動きが加速しており、メーカー各社からは「繁忙期が夏と冬に分散している」と指摘する声も聞かれる。

とはいえ、それでも冬がバッテリーの最需期であることに変わりはない。日本自動車連盟(JAF)坂口正芳会長によると、昨シーズンの年末年始(24年12月28日〜25年1月6日)は、一般道路だけで8万8000件も出動した。このうち、「過放電バッテリー」による出動件数は42.5%に当たる3万4319件だった。バッテリーメーカーは、「こうしたリスクを消費者に認知してもらい、無用なトラブルを回避してもらいながら需要を平準化する必要がある」と予防整備の重要性を認識する。

改めて予防整備訴えて

補修用バッテリーの需要が堅調だ。車両価格の上昇や供給制約に伴う新車需要の伸び悩みなどを背景に車齢が延びていることが、補修市場を下支えしている。また、バッテリーにとって負荷がかかる冬に加え、夏も酷暑となっていることで交換需要を後押ししている。ただ、バッテリーに起因するトラブルはまだ目立っており、メーカー各社は取扱店を通じて予防整備の重要性を訴えることで、需要喚起にもつながっている。

広がる再編の波

26年のトピックスは、古河電池とエナジーウィズが「サステナブル・バッテリー・ホールディングス」傘下の事業会社として本格稼働することだ。ジーエス・ユアサコーポレーションは16年にパナソニックの鉛蓄電池冬場のトラブル防止へ、予防整備の重要性訴求

事業を譲り受けており、業界再編が進む。補修用電池市場は堅調に推移しているものの、飽和していることは否めない。原材料価格や人件費などコスト上昇も経営に重くのしかかる。企業再編を通じて競争力を高め、各企業グループは将来も持続的に供給責任を果たしていく考えだ。



高性能ACDelcoバッテリー ▶ 始動性能(CCA) 蓄電容量(Ah) 耐久性 信頼性

■これからの主流 EN規格バッテリーシリーズ



ACDelcoのブランド哲学は「Be Certain(確かな安心)」を核として、その哲学はゼネラルモーターズのエンジニアリング基準に裏付けられた高品質で信頼性の高い自動車部品をお客様へお届けすることです。



事実

カーナビ、ドライブレコーダー、スマホ充電…
多くの電装品で、走行中もバッテリーに負荷が掛かっている。

Panasonic
AUTOMOTIVE



大容量
CAOS
Blue Battery

カオス
CAOSなら
増え続ける電装品に対しても、余裕の大容量。
多くの人に選ばれる理由がここにある。

- 専用バッテリーで、クラス最高水準の大容量。*1
- 深い放電時も力強く回復する「Vチャージ」機能。*2
- 補水しやすく液漏れしにくいイエロープラグ新採用。

※1) 国内製造カーバッテリーの同一性能ランク(カーバッテリーの始動性能や容量等の総合性能を表す)表示の公表値において、2021年12月1日現在、当社調べ。※2) アイドリングストップ車用に搭載。
●ビジュアルは合成イメージで、実際のものではありません。●スマホ等、画面の注視は道路交通法により禁じられており、ビジュアルはそれを推奨するものではありません。

<https://panasonic.jp/car/battery/>



ACデルコ 松本 茂登 クレイト

「2025年の自動車補修用バッテリーの販売数量が伸びた背景には、原材料費・人件費・物流費などの高騰を背景に新車価格が上昇し、国内の新車販売が前年を下回る中、保有台数は微増しており、車検や定期点検の入庫車両が増加しバッテリー交換の機会も増加し

て」
「2025年補修用バッテリー市場を振り返って」
「2025年の自動車補修用バッテリーの販売数量が伸びた背景には、原材料費・人件費・物流費などの高騰を背景に新車価格が上昇し、国内の新車販売が前年を下回る中、保有台数は微増しており、車検や定期点検の入庫車両が増加しバッテリー交換の機会も増加し

点検してもらう機会が減っている。その結果、バッテリー上がりによるJAFの出動件数は高止まりしている状態にある。バッテリーの劣化状態を確認する

「低年式車が増加する中、ガソリンスタンドの数は年々減少しており、お客さまはバッテリーを点検してもらう機会が減っている。その結果、バッテリー上がりによるJAFの出動件数は高止まりしている状態にある。バッテリーの劣化状態を確認する

「2026年の抱負と展望、営業戦略について」

「2026年の抱負と展望、営業戦略について」

「私どもACデルコは唯一、自動車に最適なバッテリーを取り扱う自動車メーカーのブランドとして、ゼネラル・モーターズのエンジニアリング基準に裏付けられた高品質で信頼性の高い製品をお客さまへお届けしている。日本においても、約30年にわたるACデルコバッテリーはトヨタの販売店やトヨタモビリティサービスの取引先に愛顧を賜り、昨年2月に累計4千万個の販売を達成することができた。私どもは一人でも多くのお客さまがバッテリー上がりに遭わずに済むように、今年もメディアや講習会を通してバッテリーの『定期点検』や『予防交換』の重要性について、改めて啓発に力を入れていく。さらに、バッテリーテストの支援活動も積極的に実施していく」

定期点検を通じ安心・安全を提供



古河電池 蛭田 友喜 執行役員

「2025年補修用バッテリー市場を振り返って」
「2025年の自動車補修用バッテリーの販売数量が伸びた背景には、原材料費・人件費・物流費などの高騰を背景に新車価格が上昇し、国内の新車販売が前年を下回る中、保有台数は微増しており、車検や定期点検の入庫車両が増加しバッテリー交換の機会も増加し

「2025年補修用バッテリー市場を振り返って」
「2025年の自動車補修用バッテリーの販売数量が伸びた背景には、原材料費・人件費・物流費などの高騰を背景に新車価格が上昇し、国内の新車販売が前年を下回る中、保有台数は微増しており、車検や定期点検の入庫車両が増加しバッテリー交換の機会も増加し

「2026年の抱負と展望、営業戦略について」

「リースルート」のシェアを高めたい

「2026年の抱負と展望、営業戦略について」

GS YUASA
Creating the Future of Energy

“革命技術”でさらに長寿命!

GSユアサの新エコ.アールはじまる。



素早い充電が可能な、高いクイックチャージ性能。放電気味使用での耐久性も向上しているため、アイドリングストップ車や「チョイ乗り」の多いお車にも安心してご使用いただけます。

エコ.アール
Eco.R
Revolution
レボリューション
アイドリングストップ車・通常車兼用バッテリー <エコ.アール レボリューション>



株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー <https://gyb.gs-yuasa.com>

詳しくはWEBで検索→ **GSユアサ ER** **SEARCH**